

Labo News

らぼニュース

発行所 社団法人愛知県臨床衛生検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座731-677
 発行人 松本 祐之
 編集人 堀 隆彦

No.371 目次

- ◆平成24年度愛知県臨床検査
 精度管理調査報告会について…………… (2)
- ◆愛臨技年会費の納入について(お知らせ)… (2)
- ◆尾張南地区だより…………… (3)
- ◆健康・キレイ応援フェスタに
 参加して その2…………… (3)
- ◆講演会・研究会…………… (4)
- ◆第45回 愛知県糖尿病療養指導研究会
 学術講演会…………… (5)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
 通信 (第17回) …………… (6)

平成24年度 第2回定期総会の開催にあたって

庶務部長 藤田 孝

来る3月16日(土)午後4時00分より、栄ガスビル501会議室におきまして社団法人愛知県臨床衛生検査技師会平成24年度第2回定期総会を開催いたします。この総会では平成25年度の事業計画や予算案を審議いたしますので、ご多忙とは存じますが何卒多数の会員の皆様にご出席いただき、十分なご討議、ご意見をいただきますようご案内申し上げます。

当会では、昨年7月に開催いたしました臨時総会におきまして公益社団法人としての定款案および役員選任をご承認いただき、9月に移行認定申請を行いました。本年4月1日をもちまして公益社団法人への移行を認定していただけるよう努力しております。それに伴い各種規程についても準備を整えており、本総会におきましても「会員および会費に関する規程」、「総会運営規程」の各案につきまして停止条件付きでご審議いただく予定としております。臨時総会同様、ぜひともご出席いただき、活発なご審議をお願いいたします。

新法人へと移行した場合、法人法および定款の定めにより定時総会は年1回となります。3月に開催される定期総会は、本総会が最後となるかもしれません。そういった意味でも、是非、会員のみなさまに足を運んでいただければと思います。

県学会は第14回を数え、6月に西三河地区の担当により刈谷市総合文化センター・アイリスで開催されます。公益社団法人として認定された場合、公益認定の記念学会となります。会員の皆様のご協力およびご参加をお願いいたします。

最後に、この総会に先駆け午後2時00分より同会場で、平成24年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会を開催いたします。今年度実施された精度管理調査について、各部門による総括が報告されます。是非多数の皆様のご参加をお願いいたします。

平成24年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告会について

日 時：平成25年3月16日(土) 14:00～15:40
会 場：栄ガスビル 5階 501会議室
内 容：平成24年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告会

- 1) 開会式 (14時00分～14時15分)
 - (1) 愛臨技会長挨拶
 - (2) 来賓挨拶
- 2) 精度管理調査報告 (14時15分～15時40分)
 - (1) 事務局総括
 - (2) 微生物検査部門
 - (3) 生理検査部門
 - (4) 一般検査部門
 - (5) 輸血検査部門
 - (6) 免疫血清検査部門
 - (7) 臨床化学検査部門
 - (8) 血液検査部門
 - (9) 病理検査部門
 - (10) 細胞検査部門

要点を簡潔にまとめた形式で報告を行います。詳細な報告は各研究班例会および総括集を参照してください。先着順となりますが、参加者には総括集を配布いたします。

なお16時00分より平成24年度 第2回定期総会が同会場で開催されます。

基礎教科：20点

主 催：愛知県臨床衛生検査技師会
共 催：愛知県医師会・愛知県病院協会・
愛知県臨床検査標準化協議会



愛臨技年会費の納入について（お知らせ）

平成25年度の愛臨技年会費について、下記にて日臨技年会費と同時に口座引き落としとなります。

コンビニ払いをされる方は「口座振替依頼書」（日臨技ホームページからダウンロード）を提出してください。

詳細は、日臨技のホームページTOP画面「ピックアップ」をご参照ください。

記

1. 継続会員会費
口座引き落とし日：平成25年2月27日(水)
 2. 新入会の手続き
日臨技ホームページから入会申込書・賠償保険/振替口座登録用紙をダウンロードし、所定の事項を記入の上、日臨技へ提出してください。
- 以上

尾張南地区だより さくらの名所“山崎川”

名古屋市立大学病院 佐藤 茂

当病院から東側に500メートルほど行くと石川橋があります。そこから瑞穂グラウンドを通り抜け新瑞橋まで南側に沿って流れる川があります。皆さんもご存知とは思いますが、桜の名所でも有名な山崎川が流れています。2.8キロメートルの兩岸には約600本もの桜の木（ソメイヨシノ）が並んでおり財団法人日本さくらの会から「さくらの名所100選」に認定された全国的に有名な桜の名所です。特に川を中心部に位置する鼎小橋付近には、美しい花をいっぱい咲かせる老木が数多く残され、川面と相まって見所のひとつになっています。また、田辺公園付近な

どでは川岸まで降りることができます【写真1】。桜の花が咲き誇る期間、鼎小橋（カナエコバシ）付近では夜間ライトアップが行われ、投光器が照らし出す夜桜風景は大変美しく一見の価値があります【写真2】。例年3月下旬から4月上旬までが見頃で、住宅地のため出店などはなく宴会はできませんが、夕方から夜の9：30までのライトアップが最高に綺麗です。“花見より団子“の方は物足りなく感じられるでしょうが、純粹に桜の観賞をされたい方は、カメラを持参のうえ是非一度、山崎川の畔を散歩してみたいはいかがでしょうか【写真3】。



【写真1】



【写真2】



【写真3】

健康・キレイ応援フェスタに参加して その2

半田市立半田病院 岩本 照子

11月24日（土）、25日（日）名古屋市の吹上ホールで開催されたスギ薬局グループ第2回健康・キレイ応援フェスタに技師会出展コーナーの1日目のスタッフとして参加してきました。会場には健康ブースとキレイブースがあり、技師会としては健康ブースでの「がん細胞を見てみよう」というコーナーの出展でした。健康ブースでは血管年齢や骨密度測定が出来たり、キレイブースでは化粧品や健康飲料のサンプルが配られたりと大変お得なため（笑）、開場時間前から沢山の方が行列をつくられ、主催者が開場時間を早めるほど大盛況でした。

私達のコーナーでは顕微鏡を2台持ち込んで子宮頸癌の細胞と乳癌の細胞を実際に見ていただきました。癌検診を受けたことがある女性であっても実際にどのように検査が進み、何を見て癌を診断してい

るかについては知らない方が多く、子供からお年寄り、男性まで興味深く？こわごわ？癌細胞を覗かれました。パパニコロウ染色標本に「わあーきれい！これが人間の細胞ですか？初めて見て感動しました！」「癌細胞？まあ怖い！動きますか？見たら感染しませんか？」「えっ！人間の目で見て癌細胞を診断しているのですか？機械じゃないんですか？間違えませんか？」「男性も乳癌になるのですか？知らなかった！」など率直な感想や質問が寄せられ新鮮でした。私自身としては①子宮頸癌はウイルス感染が原因であり予防ワクチン接種が有効であること②前癌病変の段階では自覚症状がほとんどないため健診が有効であることを特に気をつけてお話しさせていただきました。

1日目はのべ320人ほどの方が訪れて下さいました。このようなイベントを通じて癌検診、臨床検査技師や細胞検査士への理解がますます深まることを願っております。貴重な体験をありがとうございました。

講演会

微生物検査研究班

専門教科：20点
日時：平成25年3月9日(土) 15:30～18:00
場所：名城病院地下会議室
テーマ①：精度管理報告
演題：「平成24年度愛臨技微生物サーベイランス総括」
講師：名城病院 池崎 幸司
テーマ②：平成25年度微生物研究班活動要望調査
－フリーディスカッション形式－
1. Aiccls活動報告と今後の活動について
2. 基礎講座の内容について
3. 微生物担当技師育成について
司会：江南厚生病院 舟橋 恵二
総合司会：江南厚生病院 舟橋 恵二

研究会

輸血検査研究班

「愛臨技精度管理事業報告会」

専門教科：20点
日時：平成25年3月9日(土) 15:00～17:00
場所：名古屋市立大学医学部研究棟11階
講義室A
テーマ：輸血検査標準化の推進
講師：1) 平成24年度精度管理調査報告
名古屋掖済会病院 佐藤 仁美
2) 抗体解離試薬の種類と特性(仮)
株式会社イムコア マーケティング部
小野 昌樹
司会：日本赤十字社東海北陸ブロック
血液センター 山田八千代
内容：平成24年度精度管理調査からみえてきた
現状や注意を要するポイントを報告しま
す。また、輸血検査・抗体解離試験に用
いる試薬について、その種類や特徴、注
意点などについて学びたいと思います。
*研究会後、精度管理に関する相談会を開
催します。相談のある方は、受付時にお
申し出ください。なお、施設別報告書、
抗原表などの資料を持参してください。

研究会

一般検査研究班

「愛知県精度管理事業報告会」
基礎教科：20点
日時：平成25年3月9日(土) 15:30～17:30
場所：医療法人宏潤会 だいどうクリニック
5階 講堂
(名鉄常滑(河和)線柴田駅南口下車徒
歩3分)
テーマ：愛臨技精度管理調査報告
講師：JA愛知厚生連江南厚生病院 伊藤 康生
岡崎市医師会公衆衛生センター 畔柳 里美
半田市立半田病院 齋藤 和也
名古屋第二赤十字病院 安土みゆき
碧南市民病院 包原 久志
豊橋市民病院 山本 明美
司会：医療法人衆済会増子記念病院 平田 弘美
内容：平成24年度の愛臨技精度管理調査の解説
を行います。尿定性、便潜血、フォトサ
ーベイについて細かく報告、解説をして
いただきます。特にフォトサーベイは類
似の成分との鑑別方法などの解説も行い
ます。サーベイ参加施設はもちろん、参
加されていない施設の方でも興味のある
方は是非お越し下さい。

平成25年1月10日現在 正会員数2,721名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録は
ホームページを御覧いただくか、事務所へ
お問合せください。

研究会

生物化学分析・血液検査研究班合同研究会

基礎教科：20点

日時：平成25年3月9日(土) 15:00～17:30

場所：中部大学 名古屋キャンパス 6階ホール

テーマ：「愛臨技精度管理調査報告会」

講師：「臨床化学検査部門」

藤田保健衛生大学病院 斎藤 翠

「免疫血清検査部門」

厚生連 安城更生病院 鈴木 美穂

「血液検査部門」

刈谷豊田総合病院 藤原 妙

豊橋市民病院 近藤 由香

司会：トヨタ記念病院 和出 弘章

愛知医科大学病院 今井 正人

内容：本年度の愛臨技精度管理調査の解析結果について報告致します。また、統計に関するミニ講座（第2回）を開催します。多数の参加をお待ちしております。

交通アクセス：名古屋市中区千代田5-14-22

JR中央本線「鶴舞」駅名大病院口（北口）

下車すぐ

地下鉄「鶴舞」駅下車北へ約100m

第45回

愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

テーマ：明日からの糖尿病療養支援に生かす！
コミュニケーションのコツ

日時：平成25年3月10日(日) 13:00～16:20

場所：名古屋大学医学部附属病院 3階講堂

講師：名城大学 総合学術研究科

生命科学専修・理工学部教養教育

教授 加藤 幸久 先生

第1部：『糖尿病の運動療法に役立てよう！

脳科学的発想で行う健康づくり

－生涯継続できるウォーキング－』

第2部：『糖尿病患者さんと良好な関係を作るため

の、社会的健康づくりのあり方』

司会：東海記念病院 藍川 智津

★本講演会は、「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として第1群1単位、第2群1単位が認定予定です。どちらかを選択してください。

【参加費】 愛知県糖尿病療養指導研究会会員無料、
その他参加者 1,000円

地名読み方教室

その7

吉根

きっこ

「名古屋市守山区」

竜泉寺ウォーターパーク界隈で名古屋のチベット？

吉根には、俱利伽羅不動寺というお寺があります。

そこに2005(H17)年チベット仏教寺院「強巴林(チャンパリン)」がつくられ日本初のチベット仏教寺院です。

栄生

さこう

「名古屋市西区」

中村区では栄生町(さこちょう)と読む。

御器所

「名古屋市昭和区」

ごきそ

読みにくいからと、あるとき突然「ごきしょ」に改称されたが、住民からのブーイングでまた「ごきそ」に戻った。

御器所八幡宮は徳川家康公が、小牧長久手の合戦の前に島田城城主大島家の案内によって立ち寄られ、その後、祈願成就(戦に勝利した事)を感謝し、家康公の指示により、大島家が社殿の造営を行ったと伝えられています。熱田神宮にかかわりがふかい土地柄。

案山子

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信 (第17回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization：AiCCLS）は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発行された刊行物、リーフレット「尿定性検査～尿試験紙検査法の手引き～」についてご紹介いたします。

尿定性検査は簡単な検査ですが、さまざまな情報が得られるため最も多くの医療施設で行われている検査です。採尿、保管、検査法、検査の注意点など、とても見やすくまとめられていますので、是非ご利用ください。今回は尿検体の採り方と保存の仕方について抜粋しました。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床衛生検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

(AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会)

I. 尿検体の採り方と保存の仕方

1. 尿の採り方と検査までの時間

尿検査に最も適しているのは、早朝第1尿の中間尿です。中間尿とは下の図のように最初と最後の尿は採らないで中間の部分を探ったもので、尿道や陰部の雑菌の混入を防ぐことができます。外来では随時尿の中間尿を採っていただきます。尿沈渣などの検査がある場合は最低 10 ml は採るように指示してください。

また、尿は放置により成分が変化しやすいため、採尿直後の新鮮なもので検査します。



2. すぐに検査ができないとき

採尿直後に検査できない場合には、コップに蓋をして冷暗所または冷蔵保存して、できるだけ 4 時間以内に検査をしてください。その際、尿は室温に戻してから検査してください。尿の温度が低いと、ブドウ糖が低く、潜血反応は高く判定されることがあります。

尿の放置による成分変化

項目	変化	原因
色調	黄色化	無色のウロビリノーゲンが有色のウロビリリン体に酸化されるため
比重	比重増加	細菌や真菌の増殖および塩類が析出するため
pH	アルカリ化	細菌増殖に伴う尿素分解により、アンモニアが生成されるため
比重	高比重化	濃縮するため
蛋白	恒常一定	比較的安定
ブドウ糖	陰性化	細菌や真菌に分解されるため
潜血反応	軽度陽性化その後陰性化	初期は溶血のため反応が促進するが、その後ヘモグロビンの変性がおこるため
ケトン体	陰性化	アセトンとアセト酢酸は分解された後に揮発するため
ビリルビン	陰性化	酸化されてビリヘルジンに変化するため
ウロビリノーゲン	陰性化	酸化されてウロビリリン体に酸化するため
胆酸酸値	軽度陽性化その後陰性化	初期は細菌による胆酸酸値の濃縮が促進されるが、その後分解されるため
白血球反応	陰性化	エステラーゼが失活するため

リーフレット「尿定性検査～尿試験紙検査法の手引き～」から抜粋